

1.1.0においてActiveConfigsetの状態がRTSEに反映されないケースが有る

2011/05/24 11:51 - n-ando

| | | | |
|---|----|-------|------------|
| ステータス: | 終了 | 開始日: | 2011/05/24 |
| 優先度: | 通常 | 期日: | |
| 担当者: | ta | 進捗率: | 100% |
| カテゴリ: | | 予定工数: | 0.00時間 |
| 対象バージョン: | | | |
| 説明 | | | |
| 一つのRTCに対して、2つのRTSEからActiveConfigsetを変更する操作を行うと、片方の変更がもう片方に反映されない。 | | | |
| 例: | | | |
| <ul style="list-style-type: none"> • default(初期値), mode0, mode1というセットが存在 • RTSE1, RTSE2でエディタ上にコンポーネントをDnD • RTSE1 で mode0に変更 • RTSE2 でみると、default のまま | | | |
| ただし、エディタ上にコンポーネントをDnDせずに、NameViewer上で対象RTCをクリックするとActiveConfigsetが更新されている。 | | | |

履歴

#1 - 2011/05/29 21:55 - ta

- ステータスを新規から担当に変更

#2 - 2011/05/29 21:58 - ta

- 進捗率を0から20に変更

#3 - 2011/05/29 22:00 - ta

- 進捗率を20から30に変更

#4 - 2011/05/29 22:01 - ta

- 進捗率を30から40に変更

#5 - 2011/05/29 22:01 - ta

- 進捗率を40から50に変更

#6 - 2011/05/29 22:04 - ta

- 進捗率を50から60に変更

#7 - 2011/05/31 00:21 - ta

- 進捗率を60から70に変更

#8 - 2011/05/31 01:46 - ta

- ステータスを担当から解決に変更

- 進捗率を70から100に変更

これまでリモートへのCORBA同期と、ツール上の表示更新を同一処理内で行っており、この周期を「更新周期」にて設定しておりました。
1.1からはオブザーバの機能が追加されましたため、リモートへのCORBA同期とツール上の表示更新を別処理とし、リモートへのCORBA同期の周期を「更新周期」にて設定する形に修正させて頂きました。

#9 - 2011/12/07 15:47 - n-ando

- ステータスを解決から終了に変更